



スマートウェイの推進について

2004年11月

1. スマートウェイ推進に向けた活動メニュー



安全
安心

豊かさ
環境

快適
利便

共通基盤整備

相互協力と協調

平成16年8月5日 スマートウェイ推進会議提言「ITS、セカンドステージへ」から

1. スマートウェイ推進に向けた活動メニュー



【安全・安心、豊かさ・環境】

	サービスシーン	取り組み
安全・安心	タイムリーな走行支援情報の提供 (VICS サービスの充実)	<ul style="list-style-type: none"> ・ H17 年度に規格・仕様策定(予定) ・ H19 年度頃から新方式による VICS 提供開始(予定)
	自専道における安全運転支援のため注意・警告	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国総研が AHSRA と研究開発継続中。 ・ H15 年度、H16 年度に参宮橋実験を実施。
	特殊車両の管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直轄国道約 30 箇所に自動計測装置を設置(予定)。 ・ 一部 H17 年度から運用開始(予定)
豊かさ・環境	スマート IC	<ul style="list-style-type: none"> ・ H16 年度に社会実験着手 ・ H17 年度から本格展開開始(予定)
	バスロケ、デマンドバスやタクシーの運行支援等	<ul style="list-style-type: none"> ・ H17 年度に高速バスロケの規格・仕様策定、全国展開(予定)
	歩行者の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ ITS 名古屋世界会議で実証実験 ・ H16 年度から神戸市での試行導入支援に着手
	ITS を活用した物流効率化システム等	<ul style="list-style-type: none"> ・ H16 年度に秋葉原で共同配送実験。他各地で実験実施中。

1. スマートウェイ推進に向けた活動メニュー



【快適・利便】

	サービスシーン	取り組み
快適・利便	場所やニーズに応じた地域ガイド (SA・PA、道の駅等における情報提供・インターネット接続サービス)	<ul style="list-style-type: none"> ・ H17 年度に規格・仕様策定(予定) ・ H19 年度に道の駅等で一部サービス提供開始(予定)
	あらゆるゲートのスムーズな通過 (駐車場等でのキャッシュレス決済)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ITS 名古屋世界会議で実証実験 ・ H17 年度に規格・仕様策定(予定) ・ H19 年度に公共駐車場で一部サービス開始(予定)
	ETC を用いた多様な料金施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ H14 年度から ETC 利用者限定の各種社会実験 ・ H15 年度から首都高の特定路線において ETC 限定割引 ・ H16 年度から JH で、ETC 利用者を対象とした平均通行料金の 1 割引き下げを実施
	路上空間の有効利用、路上工事情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ユーザーの視点に立った道路工事マネジメントの改善委員会」において検討中
	プローブカーによる収集データの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的なデータは収集し渋滞損失評価に適用済 ・ 今後、センサス高度化、路面状況把握等について検討

1. スマートウェイ推進に向けた活動メニュー



【共通基盤整備】

共通基盤 整備	ITS 車載器・路側機の実現 (機器仕様、共通マーク、セキュリティ確保、カード等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ H16 年度に公募による官民共同研究の実施 ・ H17 年度に規格・仕様策定(予定)
	データ構造の統一、公開、共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定義、表現方法等、データ構造の統一化を推進
	デジタル地図の高度化	<ul style="list-style-type: none"> ・ H17 年度に高速道路について詳細なデジタル地図を策定(予定) ・ 走行支援システムへの活用 ・ 迅速な更新を可能とする仕組みづくり
	光ファイバ、センサ類の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-Japan 重点計画を受け、H15 年度に光ファイバネットワークが概成 ・ あわせて、民間等への光ファイバ収容空間の開放を順次実施進展

【相互協力と協調】

相互協力 と協調	技術研究開発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次世代 ITS サービスについては、H16 年度に公募による官民共同研究の実施
	地域・市民との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山 ITS 協議会、青森 ITS クラブ(NPO)等の活動支援
	国際協調の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本が開発した DSRC(T75、T88)技術の ISO における標準化活動の実施 ・ 米、EU など二国間協議での定期的な情報交換 ・ 世銀 ITS ツールキットを活用した技術協力

2. 日本ITS推進会議提言

- ・ 2004年10月、日本ITS推進会議(委員長:坂内正夫 国立情報学研究所副所長、事務局:ITS Japan)が「ITS推進の指針」を提言。
- ・ スマートウェイ推進会議提言「ITS、セカンドステージへ」と同様の方向性が提言された。

【この先5年間で重点的に取り組む5つの総合テーマ】

・ 道路交通の安全性向上

・ 交通の円滑化・環境負荷の軽減

・ 個人の利便性向上

・ 地域の活性化

・ 共通基盤の整備と国際標準化・国際基準の策定等の推進

2. 日本ITS推進会議提言

【委員名簿】

委員長	坂内 正夫	国立情報学研究所 副所長
委員	石田 東生	筑波大学 教授
	山内 弘隆	一橋大学 教授
	松波 正壽	(社)日本自動車連盟(JAF)副会長
	沢田 藤司之	(NPO)バリアフリー協会 専務理事
	前田 和久	(株)ツーリズム・マーケティング研究所 社長
	中田 洋	(社)日本物流団体連合会 理事長
	室山 哲也	日本放送協会 解説委員
	マリ クリステイーヌ	2005年日本国際博覧会 広報プロデューサー
	月尾 嘉男	ITS 世界会議 日本組織委員会総合プロデューサー
	吉野 浩行	(社)日本経済団体連合会 副会長
	小枝 至	(社)日本自動車工業会 会長
	谷口 一郎	(社)電子情報技術産業協会 副会長
	羽鳥 光俊	ITS 情報通信システム推進会議 副会長
	梅田 貞夫	(社)日本土木工業協会 会長
	小川 善美	(株)インデックス 社長
	西川 光一	パーク24(株) 社長
	矢代 隆義	警察庁 交通局長
	有富 寛一郎	総務省 総合通信基盤局長
	石毛 博行	経済産業省 製造産業局長
	谷口 博昭	国土交通省 道路局長
	金澤 悟	国土交通省 自動車交通局長
	福岡 克彦	愛知県企画振興部長
	渡辺 捷昭	ITS Japan 担当理事会 議長